

平成20年度 事業概要



中部森林管理局
平成20年4月23日

写真：杓子岳と白馬鑓ヶ岳(白馬山国有林)

連絡先：中部森林管理局 総務課 広報

TEL 050-3160-6513 FAX 026-236-2733

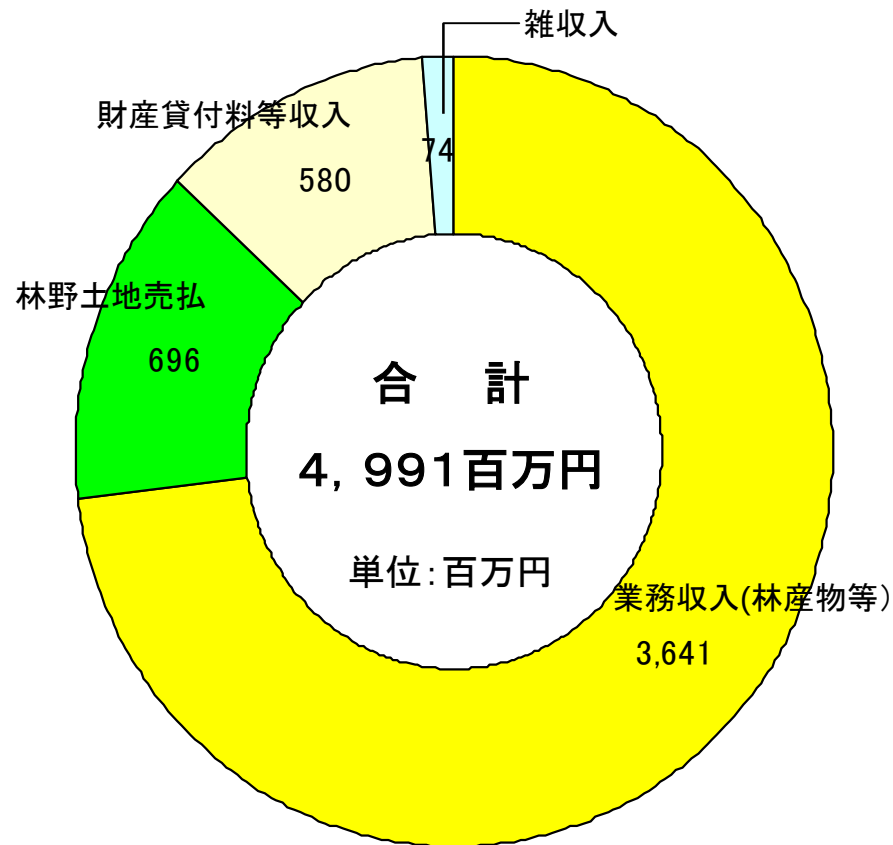
URL <http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>

目 次

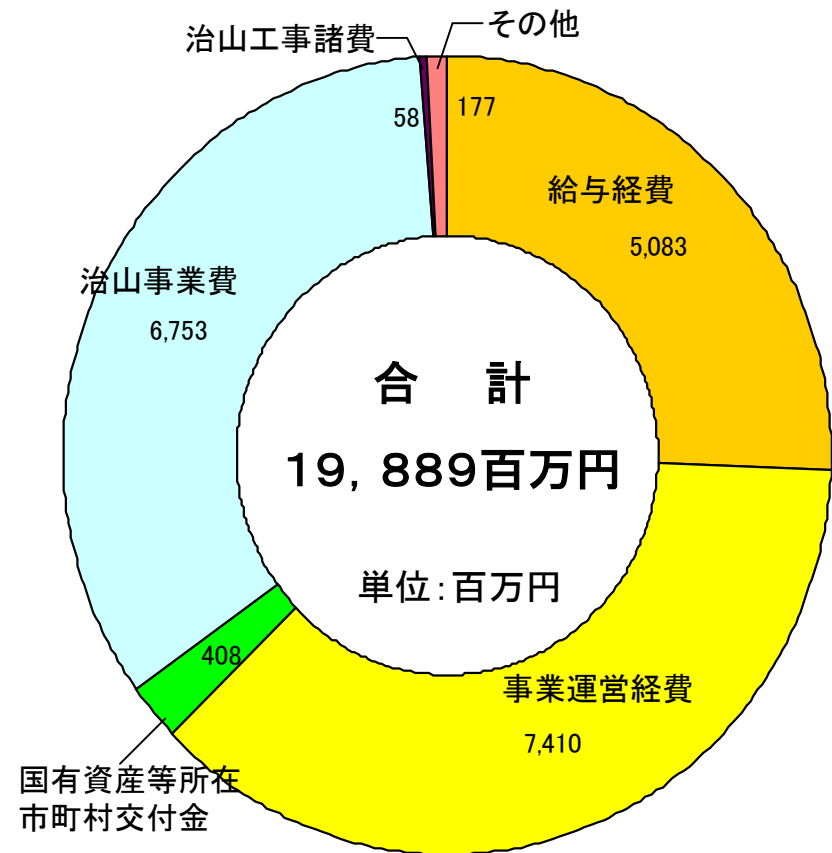
1	平成20年度予算の概要	1
2	基本方針	2
3	公益的機能の発揮に向けた取組	3
	○ 森林整備事業、林道事業、治山事業、森林技術の開発・普及	
	○ 重点取組事項	
4	国有林野の維持及び保存	6
	○ 保護林、緑の回廊等における主な取組	
	○ 重点取組事項	
5	林産物の供給	8
	○ 低コスト化、安定的な林産物の供給等に向けた主な取組	
	○ 重点取組事項	
6	国民の森林としての取組	10
	○ 国民の森林としての主な取組	
	○ 重点取組事項	
7	地域振興への寄与	12
	○ 公衆の保健のための活用の推進、国有林野の活用の適切な推進	
	参考資料	13
	○ 予算概要と主要事業量等	

1 平成20年度予算の概要

歳入予算



歳出予算



注: 前年度繰越明許等を含まず

2 基本方針

- ・ 公益的機能の維持増進を旨として、開かれた「国民の森林」としての国有林野の管理経営を推進
- ・ 「美しい森林づくり」に向けて民有林施策との一層の連携を図りつつ、地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする国民のニーズに応えた多様で活力ある森林の整備や木材の安定供給等に率先して取り組む

管内の国有林野の特徴に着目し3つの交流をキーワードに取り組む。

富山県、長野県、岐阜県、愛知県の4県を管轄し、管内区域の19%、全国の国有林野の9%にあたる約66万haの国有林野を管理経営

【水の交流】

命の源である水を育み国土を保全する森林を上下流が連携して守り育てる取組を積極的に進め、各流域における水を通じた交流を推進する

管内の国有林は、都市近郊林から日本アルプスの山岳地帯まで幅広く分布し、その多くは急峻な脊梁山脈や重要な水源地に位置していることから、山地災害の防止や下流域への良質な水の供給等に国有林の果たす役割は大きい

【人の交流】

森林の特性を踏まえた各種活動を地域との協働や連携を図りながら、人の交流を促進する

【木の交流】

民有林関係者との一層の連携による木材の安定供給など、地球温暖化の防止や循環型社会の構築に向け、生産者から消費者までの木を通じた交流を推進する

美しい森林づくり推進国民運動に取り組みます。

3 公益的機能の発揮に向けた取組

管内の国有林野は、「日本の屋根」と呼ばれる日本アルプスを中心とした脊梁山脈や重要な水源地に広く分布していることから、安全・安心な国土管理の要として、国土保全・水源かん養等に果たす役割、国有林野に対する国民の期待等を踏まえ、機能類型に応じた管理経営を推進する中で、森林の公益的機能の維持増進、地球温暖化防止対策に率先して取り組む

森林整備事業

- 公益的機能の高度発揮や地球温暖化防止対策を推進するため間伐等の森林整備を計画的に実施
- 伐採年齢の長伐期化、複層林化、天然力を活用した針広混交林化等多様で健全な森林づくりを推進

林道事業

- 路網整備の推進と現地の実態に即した工種・工法等の採用
- 低コスト化の推進及び間伐材等の木材利用の推進



針広混交林



列状間伐



施工前



施工後

治山事業

- 集中豪雨等による災害の早期復旧
- 民有林施策との連携による効果的な治山対策の実施
- 保安林の整備の推進



施工前



施工後

森林技術の開発・普及

- 地域の特性を踏まえ、計画的に取り組み、その成果の普及・定着を推進
- 公益的機能の維持増進や事業の低コスト化を図る



木材チップ被覆試験



重点取組事項

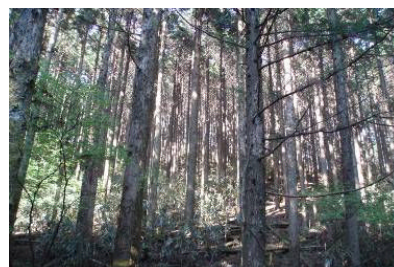
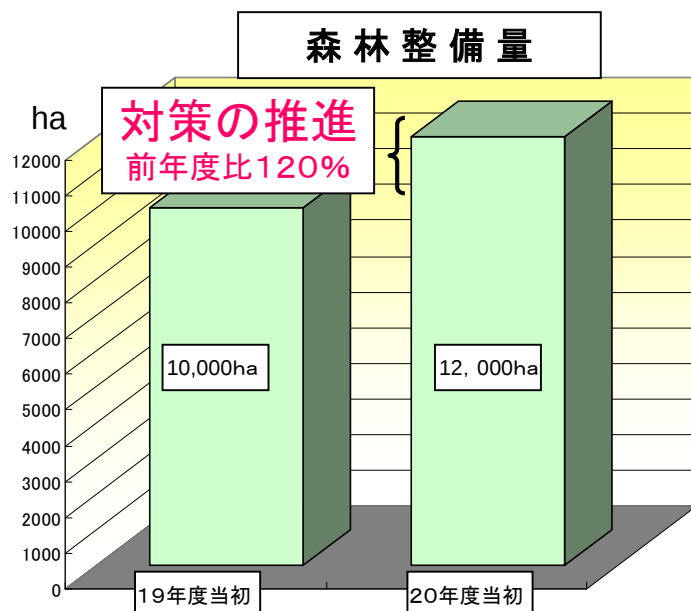
① 地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の推進

取 組

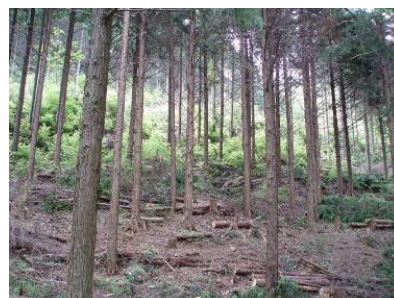
国際約束である京都議定書の目標達成に向け、当年度は約12,000haの間伐等の森林整備を実施

森林吸収源対策の取組を強化

- 森林吸収源としてカウントできる森林を着実に増やすため効果的、効率的に間伐等を実行
- 進行管理を徹底し、計画的に森林を整備



間伐の実施



木材の積極的な利用

- 林道事業、治山事業等において間伐材等の木材利用を推進
また庁舎の新築においても国産材を用いるなど積極的に木材を利用



北信署
平成20年3月
竣工

北信署の新築
に国産材を使用



② 安全・安心な国土管理に向けた治山事業の取組

取 組

管内の国有林の多くが急峻な山岳地形であること、日本列島を大きく分ける2つの構造線が通るなど山地災害の危険性が高い地域であることや、台風、集中豪雨等による激甚な災害が近年多発していることを踏まえ、安全・安心な社会の実現に向け、災害の早期復旧、計画的かつ効果的な治山対策を展開

治山事業のPR

- 治山現地見学会等を開催し、治山事業の重要性をPR
- 各種説明会を実施し、地域の要請等を反映した治山計画を策定



民有林との連携

- 治山事業連絡調整会議を開催し関係各県との連携を強化
- 特定流域総合治山事業の実施により、流域単位に効果的な治山対策を推進
- 大規模災害発生時の県への職員派遣等、災害復旧に向けて迅速・円滑に対応



親自然型工法を積極的に採用

- 間伐材を利用した残存型枠等の利用を促進
- 大転石による護岸工など現地発生材等を有効に活用
- 外来種を持ち込まず、現地の既往種により緑化



4 国有林野の維持及び保存

貴重な森林生態系等を国民共通の財産として適切に維持・保存するための取組を推進

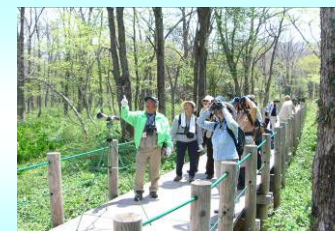
保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存

- 保護林について、20年度当初新たに5箇所560haを設定。さらに80箇所において機能評価のための調査を実施
- 緑の回廊(4箇所)について野生動植物の生息・生育状況を把握するためのモニタリング調査を引き続き実施
- 森林生態系を保護するため、帰化植物の除去活動の実施など、NPO等と連携した保護活動を実施(年2回、立山、白山登山道入口にて実施)
- 木曽駒ヶ岳での高山植物の復元ボランティア作業など自然再生推進モデル事業等を実施



天然生林保全管理対策

- 立山や乗鞍岳など管内百名山を中心に、グリーンサポートスタッフによる利用者等への指導・啓発活動を実施
 - * グリーンサポートスタッフ(森林保護員)
 - 天然生林における植生荒廃等の状況把握や利用者への利用マナーの指導及び普及啓発活動等を行うことを目的に平成18年度から開始



高山植物保護活動

- 貴重な高山植物等について、高山植物等保護対策協議会や関係機関と連携した保護管理の啓発PR、上高地地区や白馬岳でのグリーンパトロール隊等による登山者への利用マナーの指導、清掃活動等を実施
 - * グリーンパトロール隊
 - 登山者による高山植物の盗採や踏み荒らし等の違反行為を監視、指導することを目的に昭和45年より実施



森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理

- 林野火災、廃棄物の不法投棄等の未然防止のため森林官等によるパトロールや地元自治体・ボランティア等と連携したクリーン活動等を積極的に実施
- 森林病虫害やニホンジカ等による森林被害を防ぐため森林官等によるパトロール防護柵の設置及びシカの捕獲等を実施



山火事防止パトロール



シカ捕獲(罾)の実施

重点取組事項

保護林等の適切な管理の推進

取 組

原生的な森林生態系や、貴重な野生動植物の生息地・生育地となっている保護林や緑の回廊等において、モニタリング調査や保全対策事業及び希少野生動植物の巡視等を実施

モニタリング調査

- 保護林の設定目的に照らした機能評価に必要なデータの収集及び検討会による評価(千曲川上流、庄川、揖斐川、千曲川下流、宮・庄川、中部山岳、長良川の各流域内保護林が該当)
- 緑の回廊における野生動植物のデータの収集(雨飾・戸隠、ハヶ岳、白山山系、越美山地の4箇所)



保護林保全緊急対策

- 仙丈ヶ岳においてシカによる高山植物の被害対策として、防護柵を設置(約0.8ha)
- ヒメバラモミ等希少植物の生育状況調査及び更新技術の開発、分布調査等を実施
- 赤沢自然休養林における木曾ヒノキの枯損原因を調査
- 天生高層湿原^{あもう}の維持を目的に支障となるかん木を除去



被害前のハクサンイチゲとシナノキンバイ

希少野生動植物の保護

- 富山署、中信署、飛騨署管内においてライチョウの生息調査及び巡視を実施
- 東信署管内においてイヌワシの巡視及び餌場の刈払いを実施
- 東信署管内においてアツモリソウの巡視を実施

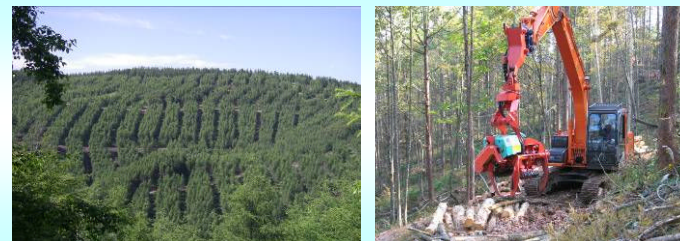


5 林産物の供給

間伐等の推進を通じて生産される木材や管内の特産樹種である「木曽ヒノキ」をはじめとする高品質材を樹材種の特性及び需要動向等に応じて計画的に生産・販売するとともに民有林関係者との一層の連携により木材の安定供給に取り組む

低コスト・高効率作業システムへの取組

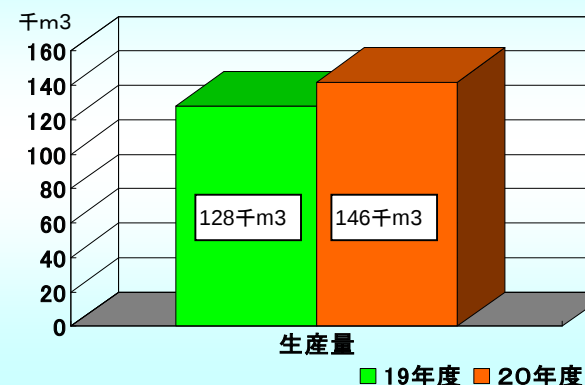
- 簡易で崩れにくい作業路の整備と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率作業システムの導入及び普及促進によりトータルコストを縮減



需要動向に応じた生産・販売の推進

- 木材の需給状況や木材産業の動向など林産物の生産・販売を巡る状況を的確に把握し戦略的な生産・販売を推進(146千m³)
- 間伐等の推進に伴い生産される並材や低質材を安定的かつ円滑に販売するため、透明性及び公平性を重視した企画競争によりシステム販売の協定を締結し、広域的・計画的な販売を促進
- 各県との協議会等を通じた民有林関係者との一層の連携により木材の安定供給への取組を推進
- 木曽ヒノキなど特産樹種の市場動向等を踏まえ有利販売を推進

平成20年度 木材の生産量



木材の利用促進等

- 木材の利用促進を図るため、治山事業等における間伐材等の積極的な利用や国民に対する木材利用の積極的な啓発を推進
- 庁舎の新築において持続可能な森林経営が営まれている森林から生産された合法的な木材のみを使用するなどの取組を通じ、違法伐採対策を推進するとともに、国有林材が合法・持続可能な木材であることをPR



重点的取組事項

低コスト・高効率作業システムの導入及び普及促進

取 組

各署等の素材生産請負事業地において、現地に適合した作業システム及び路網の開設を試行。また民有林と連携した現地検討会を実施し、低コスト・高効率作業システムの導入、普及を促進

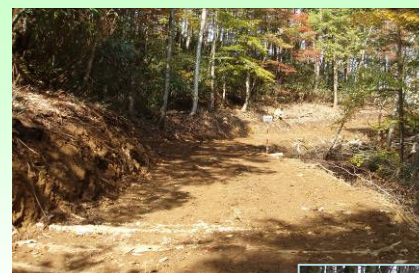
平成19年度
3署※においてモデル林を設定し、
県・林業事業体等との現地検討会
を開催



※ 木曽署、飛騨署、岐阜署

平成20年度
素材生産請負事業を行っている全ての署等に拡大(10署等)

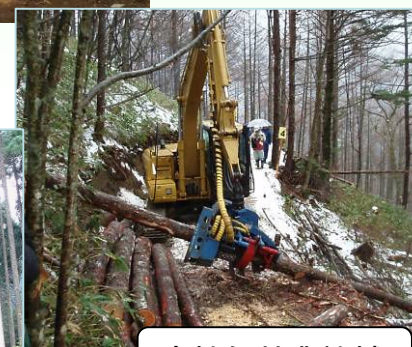
北信署：黒姫山国有林
(長野県信濃町)
中信署：鹿島山国有林
(長野県大町市)
東信署：屋敷入奥国有林
(長野県佐久穂町)
南信署：浦国有林
(長野県伊那市)
木曽署：奈良井国有林
(長野県塩尻市)
南木曽支署：南木曽国有林
(長野県南木曽町)
飛騨署：山中山国有林
(岐阜県高山市)
岐阜署：落合国有林
(岐阜県下呂市)
東濃署：上村恵那国有林
(岐阜県恵那市)
愛知所：段戸国有林
(愛知県設楽町)



路網の整備



列状間伐



高性能林業機械

6 国民の森林としての取組

森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等森林に対する国民の多様な要望を踏まえ、開かれた「国民の森林」の実現に向けた取り組みを展開

国民参加の森林づくりの推進

- 森林ボランティア活動、社会全体で森林を支えようとする気運の高まりに答え国民参加の森林づくりを推進
 - ・ NPO等の自主的な森林整備活動等のフィールドの提供 → 「ふれあいの森」(10箇所)
 - ・ 歴史的木造建造物等の継承への貢献 → 「木の文化を支える森づくり」(5箇所)
 - ・ 広範囲な区域を対象とした森林の保全活動 → 「民間団体の多様な活動を推進」(3箇所)
 - ・ 都市住民による森林整備や森林とのふれあいの支援 → 「名古屋シティ・フォレスター事業」(年17回に拡充)
 - 「森林ふれあい講座」(年8回開催)



森林環境教育の推進

- 学校等が体験活動等を実施するための「遊々の森」や学校分収造林の設定・活用等を通じて、教育関係機関、NPO等と連携しつつ森林環境教育を推進
 - ・ 19年度に実施し好評だった小中学生等を対象とした「出前授業」に加え、新規に一般募集による親子の自然体験教室を開催



双方向の情報の受発信の推進

- 親しみのある国有林の実現に向けた取組を推進
 - ・ 森林計画の策定にあたり、ポイントを分かりやすく取りまとめた概要版をHPに掲載するとともに、あらかじめ公告・縦覧し広く意見を聴取
 - ・ 一般公募した市民による国有林モニター会議等対話型の取組を通じ、国有林に対する要請を把握し管理経営に反映



地域等と連携した取組の推進

- 地域の特性を踏まえた課題への自主的な取組を助長する「地域発案システム」を引き続き推進
- 国有林野事業に対する地域ニーズの的確な把握、国の施策の紹介、民有林と連携した取組の提案などを積極的に実施

重点取組事項

国民の森林としての取り組みの推進

取 組

国有林のフィールドを活用した様々な森林イベントの開催、自然体験教室の開催、民有林関係者との連携の強化に向けた取り組みを推進

森林イベント情報の発信

- 管内各地域において森林イベントを開催
- これらの情報は、パンフレットやHPを通じ、広く発信するなど広報活動も展開



親子の自然体験教室

- 今年度新規に開催
- 戸隠国有林(北信署管内)において、森林官をはじめ経験豊かな職員による自然体験教室を実施



民有林との連携強化

- 管内に所在する4県との協議会等において、地域の課題等について意見を交換
- この結果を踏まえ森林整備、森環境教育等の連携を推進



7 地域振興への寄与

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察等に適した国有林について、レクリエーションの森林として整備を進め、国民の利用に供するとともに、地域の産業振興等に必要な用地の活用等を推進

魅力あるレクリエーションの森の整備

- レクリエーションの森の設置の見直しを実施(千曲川上流、庄川、揖斐川森林計画区)
- 新たな管理運営協議会の設置に取り組む
- 企業やNPO等多様な団体の参画による「レクリエーションの森」サポーターの募集
- NPO等と連携した活動プログラムの提供などソフト対策の充実
- 森林環境整備推進協力金制度(募金等)の充実



カヤノ平自然休養林

国有林野の活用の推進

- 庁舎、宿舎等の敷地については、事業遂行上不可欠なものを除き可能な限り売り払いを推進

平成20年度 主な公売物件

- | | |
|------------------|---------------|
| ・ 宅地:長野県大町市 | 823m2(中信署) |
| ・ 宅地:富山県上市町 | 665m2(富山署) |
| ・ 宅地:岐阜県高山市 | 1,101m2(飛騨署) |
| ・ 宅地:長野県長野市 | 1,481m2(中部局) |
| ・ 畑・公衆用道路:富山県立山町 | 30,077m2(富山署) |



平成16年度売払箇所
国有林野活用例(軽井沢町:大賀ホール)

(参考資料)

平成20年度予算の概要

○ 歳入予算

(単位:百万円)

区 分		平成19年度当初	平成20年度当初
業務収入	林産物	3,560	3,620
	分収育林	16	21
	計	3,576	3,641
林野土地売払		816	696
財産貸付料等収入		606	580
雑収入		78	74
合 計		5,076	4,991

注:一般会計繰入額を除く

○ 歳出予算

(単位:百万円)

区 分		平成19年度当初	平成20年度当初
給与経費		4,862	5,083
事業運営経費	業務費	1,872	2,037
	分収育林費	41	48
	施設費	148	19
	森林環境保全整備費	(156) 4,288	(160) 5,112
	官行造林費	36	40
	その他	155	154
	計	(156) 6,540	(160) 7,410
林道施設等災害復旧事業費		(974) 177	(74)
国有資産等所在市町村交付金		408	408
治山事業費		(10,122) 6,816	(3,510) 6,753
治山工事諸費		(20) 61	(13) 58
その他		206	177
合 計		(11,272) 19,070	(3,757) 19,889

注:()は繰越明許等で外書

管内概要

○ 人天別機能類型別面積

単位:千ha

機能類型区分		合 計					
		人工林		天然林		計	
	細 分		率		率		率
水土保持林	国土保全タイプ	48	7	199	30	261	40
	水源かん養タイプ	109	17	41	6	152	23
	計	157	24	240	37	414	63
森林と人との共生林	自然維持タイプ	1	0	115	18	188	29
	森林空間利用タイプ	13	2	25	4	41	6
	計	13	2	140	21	229	35
資源の循環利用林		11	2	1	0	13	2
合 計		182	28	380	58	655	100

- * 平成20年3月31日現在 森林調査簿データによる
- * 四捨五入により単位以下となるものは0表示
- * 計の欄にはその他(高山帯、林道敷等)の面積が含まれる
- * 項目ごと単位以下四捨五入のため計が一致しない場合がある

○ 人天別機能類型別面積(県別)

単位:千ha

機能類型区分		富 山 県						長 野 県						岐 阜 県						愛 知 県					
		人工林		天然林		計		人工林		天然林		計		人工林		天然林		計		人工林		天然林		計	
	細分		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率
水土保持林	国土保全タイプ	1	1	33	50	41	61	26	7	111	30	142	39	19	11	54	31	77	44	2	16	0	2	2	19
	水源かん養タイプ	1	2	2	3	3	5	62	17	26	7	90	25	41	23	13	8	54	31	5	43	0	2	5	46
	計	2	4	35	53	44	66	88	24	137	37	232	63	60	34	67	39	131	75	6	59	0	4	7	64
森林と人との共生林	自然維持タイプ	0	0	27	41	59	88	0	0	69	19	97	26	0	0	19	11	32	19			0	0	0	0
	森林空間利用タイプ	0	0	2	2	2	3	8	2	17	5	28	8	2	1	5	3	8	5	2	21	1	7	3	29
	計	0	0	29	43	60	91	9	2	86	23	125	34	2	1	24	14	40	23	2	21	1	7	3	30
資源の循環利用林		0	0			0	0	9	2	0	0	10	3	2	1	0	0	2	1	1	6			1	6
合 計		2	4	64	96	104	100	106	29	224	61	367	100	64	37	91	53	174	100	10	87	1	11	11	100

管内概要

○ 保安林面積

単位:千ha

	富山県	長野県	岐阜県	愛知県	合計
保安林	104	345	171	10	631

- * 平成20年3月31日現在 保安林台帳実面積による
- * 官公造林面積を含む
- * 項目ごと単位以下四捨五入のため計が一致しない

○ 保護林面積

単位:千ha

	富山県		長野県		岐阜県		愛知県		合計	
	箇所	面積	箇所	面積	面積	面積	箇所	面積	箇所	面積
保護林	11	13	100	68	31	21	1	0	143	102

- * 平成20年3月31日現在 森林調査簿データによる(県別箇所数の集計のため、重複(2箇所)を含む)
- * 四捨五入により単位以下となるものは0表示

○ 緑の回廊

単位:千ha

	富山県	長野県	岐阜県	愛知県	合計
越美山地緑の回廊			7		7
白山山系緑の回廊	7		17		24
緑の回廊雨飾・戸隠		4			4
緑の回廊八ヶ岳		6			6
計	7	10	24		40

- * 平成20年3月31日現在 森林調査簿データによる
- * 項目ごと単位以下四捨五入のため計が一致しない

20年度の主要事業量

○ 森林整備予定事業量 (単位: ha)

区分	植付	保育	間伐
平成19年度当初	64	5,484	4,519
平成20年度当初	40	5,469	6,891

* 植付は新植分のみ

* 保育は下刈、つる切、除伐、枝打の合計であり、保安林整備を含む

* 間伐は保育間伐、保安林整備等を含む

* 本表は前年度からの繰越分を含む

○ 林道路網整備予定事業量 (単位: km)

区分	林道新設	作業道	災害復旧
平成19年度当初	5.9	13.0	3.5
平成20年度当初	3.2	11.6	0.3

○ 治山事業の主な予定事業量

区分	溪間工(基)	山腹工(ha)	護岸工(m)	集水ボーリング(m)	保安林整備(ha)
平成19年度当初	238	115	1,604	7,090	3,779
平成20年度当初	147	72	276	4,319	5,301

* 本表は前年度からの繰越分を含む

* 保安林整備は下刈、つる切、除伐、枝落とし、保育間伐の計

○ 木材の伐採・販売予定量 (単位: 千m³)

区分	伐採量			販売量	
	主伐	間伐	計	素材	立木販売
平成19年度当初	41	344	386	128	24
平成20年度当初	51	528	579	146	21

* 区分毎に四捨五入しているため計が一致しない場合がある

○ 製品生産の樹種別内訳 (単位: 千m³)

区分	ヒノキ	木曽ヒノキ	天然サワラ	カラマツ	その他	計
平成19年度当初	62	6	2	37	21	128
平成20年度当初	56	7	1	57	26	146

* 区分毎に四捨五入しているため計が一致しない場合がある

* ヒノキ、カラマツは人工林

* 木曽ヒノキは長野県木曽谷地域及び岐阜県産天然ヒノキを含む

平成20年度 県別伐採量及び製品生産量

○伐採量(主間伐別)

(単位:千m3)

区分		数 量			
		富山県	長野県	岐阜県	愛知県
伐採量	主伐	3	28	15	5
	間伐	6	314	187	21
	計	9	342	201	26

* 区分毎に小数点以下を四捨五入しているため計は一致しない

○伐採量(樹種別)

(単位:千m3)

区分		数 量			
		富山県	長野県	岐阜県	愛知県
ヒノキ		—	86	65	20
木曽ヒノキ		—	9	0	—
天然サワラ		—	1	—	—
カラマツ		—	206	54	—
その他		9	42	82	6
計		9	342	201	26

* 区分毎に小数点以下を四捨五入しているため計は一致しない

* 四捨五入により単位以下となるものは0表示

○製品生産量(樹種別)

(単位:千m3)

区分		数 量			
		富山県	長野県	岐阜県	愛知県
ヒノキ		—	38	15	3
木曽ヒノキ		—	7	0	—
天然サワラ		—	1	0	—
カラマツ		—	46	11	—
その他		—	9	15	1
計		—	101	41	4

* 四捨五入により単位以下となるものは0表示